

東京大学における情報システムとコミュニケーションツール説明会

Part III: 東京大学での 教育活動に利用するシステム – UTASとUTOL

説明者: 雨宮智浩

情報基盤センター 教授

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか, https://sli.do/ からアクセス して以下のコードを入力

utelecon20250910

事前質問も歓迎します!

U はじめに

本パートではUTASとUTOLを紹介します

東京大学の授業では次の3つのシステムをよく使うことになります

- UTAS (UTokyo Academic Affairs System) … 学務システム
 - 大学として公式に記録すべき情報(シラバスや成績など)を取り扱う
 - 授業シラバスの登録や成績の報告に利用
- UTOL (UTokyo LMS) … 学習管理システム
 - 授業期間中の教員と学生の情報交換を支援する
 - お知らせの掲出、資料の配付、出欠の記録、課題の受付に利用
- Zoom …オンライン会議ツール
 - 東京大学で最も広く利用されているオンライン会議ツール

⊢ Part II

U はじめに

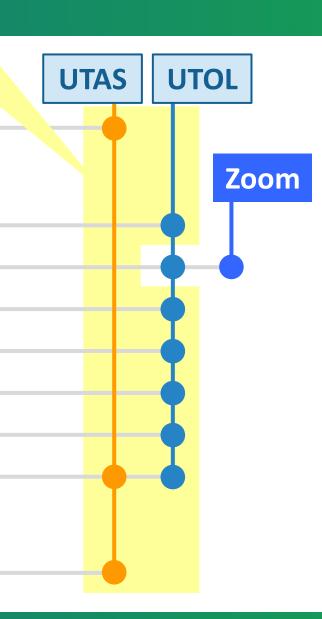
より詳しい内容は utelecon で確認できます



U 授業の流れ

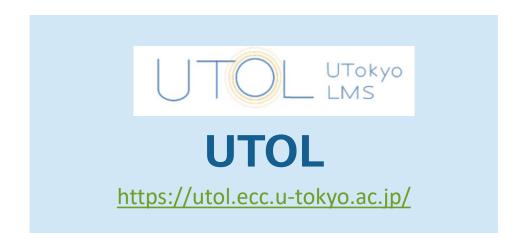
オンライン授業でなくても、 多くに共通して各システムを 使うことになります。

- 授業開始前
 - シラバスの登録
- 授業期間中
 - 授業時間外の学生とのコミュニケーション
 - オンライン会議の設定と会議情報の学生への周知
 - ・ 資料の配付
 - ・ 出欠の確認
 - 課題の設定、提出受付と評価
 - オンラインテスト
 - 休講と補講の設定と学生への周知
- 授業期間後
 - 成績の報告



U 各システムへのリンク





これらのURLをブラウザのブックマークに登録しましょう



UTAS

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか, https://sli.do/ からアクセス して以下のコードを入力

utelecon20250910

事前質問も歓迎します!

U UTASにログインする

「ログイン」を押す UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、サインイン画面に移ります。サインインしてください。



https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/

U

授業担当教員がUTASでしなければならないこと

1. 授業のシラバスを登録する

- 参照:シラバス作成のためのガイドライン (和/英)
- 参照: UTASマニュアル(教員) (現在は日本語版のみ提供) 32~47ページ

2. 授業の履修登録者一覧を確認する

参照: UTASマニュアル(教員) (現在は日本語版のみ提供) 7~12ページ

3. 学生に授業の成績を付与する

参照: UTASマニュアル(教員) (現在は日本語版のみ提供) 13~31ページ

基本的に、授業を開講する学部・研究科の指示に従ってください(入力の時期、内容、方法など)



授業担当教員がUTASでできること



授業の開講関係

• 授業の休講補講情報,教室変更情報を登録する

学生の研究指導関係

・指導担当学生の情報を閲覧する



シラバス入力と成績報告



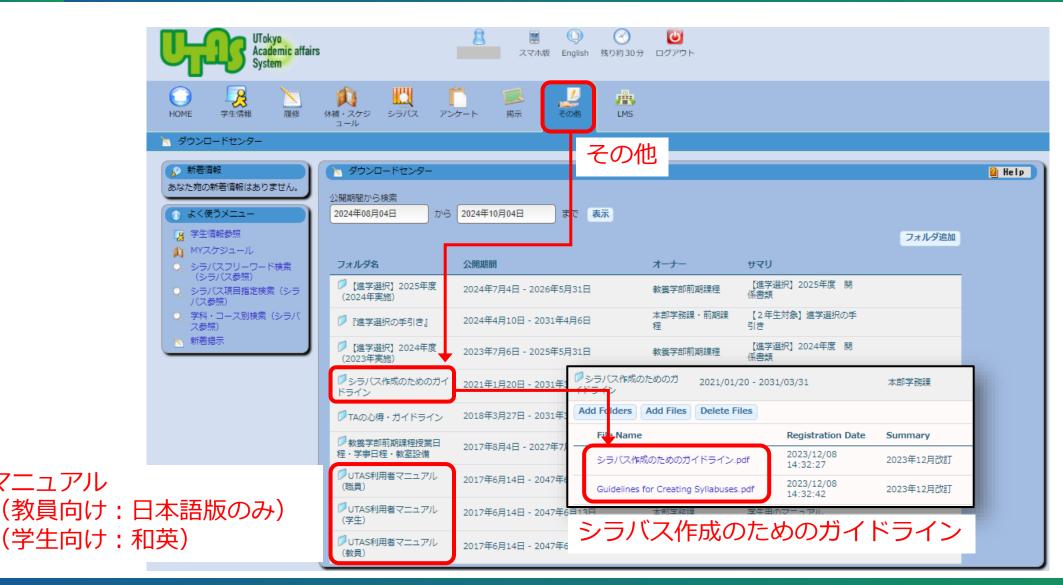
• メニューから「シラバス」や「成績・定期試験」を選んでください





シラバス作成のガイドラインとマニュアル





マニュアル



UTOL

質問をslidoでお寄せください

このリンクにアクセスするか, https://sli.do/ からアクセス して以下のコードを入力

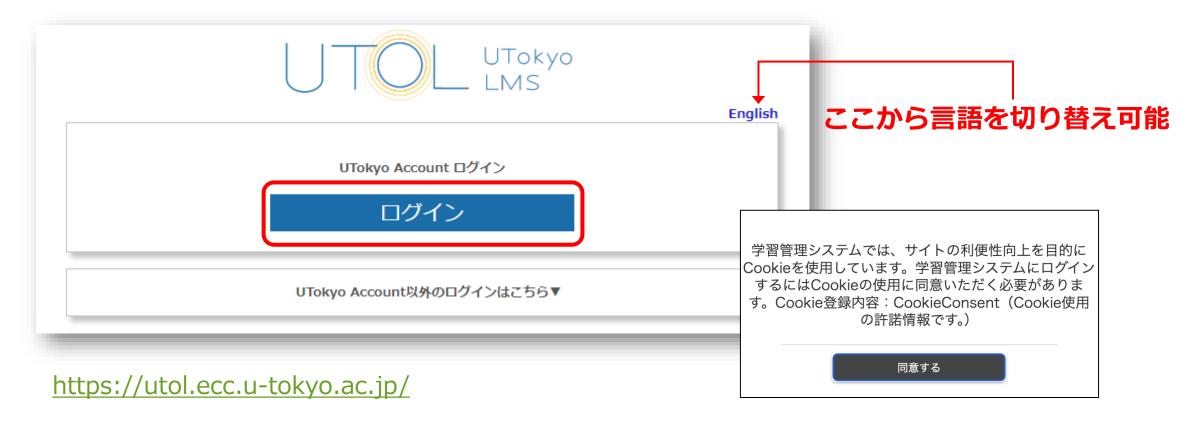
utelecon20250910

事前質問も歓迎します!

U UTOLへのログイン

「ログイン」を押す

UTokyo Account にサインインした状態でない場合には、 サインイン画面に移ります。サインインしてください。





LMS (学習管理システム) としての UTOL の利用推奨

- UTOL は全学向けの LMS ですが,教員に対して利用が必須とされているわけではありません
 - 対面での開講の場合, LMS を利用せずに授業をおこなうこともできます
 - 一部の教員は ECCSクラウドメール で提供されている Google Classroom を使っています
- ・しかしながら、基本的には UTOL の利用を推奨しています
 - 担当教員やTAは学生にメールアドレスを知らせることなく連絡がとれます
 - UTASと連携した機能があります
 - ・受講する授業によって利用するシステムやツールがバラバラだと、学生に混乱を生じさせてしまいます!



授業担当教員がUTOLでしなければならないこと



LMSとして UTOL を利用するかどうか決める

使う場合 (推奨)

使わない場合



登録の制限を設定する (「履修者範囲設定」)

UTASのシラバスに 授業についての標準的な連絡 手段を別途指示する

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/settings/#self-registration-and-content-use-scope

u	復	<u>[</u>
連絡	>	
コースコンテンツ	>	ı
コース設定	~	
コースの概要説明		
コース参加者登録		

表示ラベル管理

コース設定 LTI利用設定

ユーザグループ設定

コースグループ

その他

UTAS

覆修者範囲設定

履修者範囲設定	常に『登録方法によらず全て』 履修確定日に『登録方法によらず全て』から『履修登録・担当教員登録のみ』に自動切替 常に『履修登録・担当教員登録のみ』		
履修確定日	2025/04/30		
自己登録	✔ 許可する		
コンテンツ再利用	作成したコンテンツについて、自分が担当しない他コースも含め利用(コピー)を許可する		
メッセージ利用	✓ 教員・TA・履修者でメッセージをやり取りする		
自動登録の出席表示	授業コマから自動登録された出席情報を履修者に表示する		



履修者範囲設定

①常に『登録方法によらず全て』

②履修確定日に『登録方法に よらず全て』から『履修登 録・担当教員登録のみ』に自 動切替 (default)

③常に『履修登録・担当教員 登録のみ』

UTASでの履修登録期間が 終わるまで

UTASでの履修登録期間が 終わって以降

条件を満たさない学生は履修登録期間末に強制的に登録解除

- ・UTASで履修登録している学生
- ・担当教員が直接登録した学生のみアクセス可能

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/settings/#self-registration-and-content-use-scope



学生から見た UTAS と UTOL の登録の違い

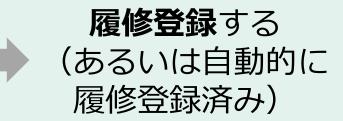


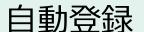


UTOL



単位の修得を 希望する学生







授業への出席 (or 配布資料の閲覧) だけを 希望する学生

登録しない

- 担当教員が許可設定済みのコースでは**学生が自己登録**できる
- ・ 担当教員が個別に登録する

学生なら誰でも授業の配布資料を閲覧できる状態 が望ましくないという授業もあるため、 このような設定が存在します



授業担当教員がUTOLでできること



- ・ (授業に学生を招待・登録する)
 - ただし, 前ページの範囲に限る
- ・学生にオンライン授業の情報を知らせる
- 「メッセージ」「お知らせ」で登録している学生やTAとのメッセージ (または全体通知)の送受信
- 「課題」で課題を作成し、共有し、提出させ、評価する
- 「教材」で学生に資料を配付する
- 「出席管理」で出席を取る
- 「掲示板」での意見交換
- 「更新通知」を送信する
 - メール、LINE、UTokyo Slack を通じて可能
 - https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/notification/



UTOL: 詳細マニュアル



マニュアルはここから参照できます

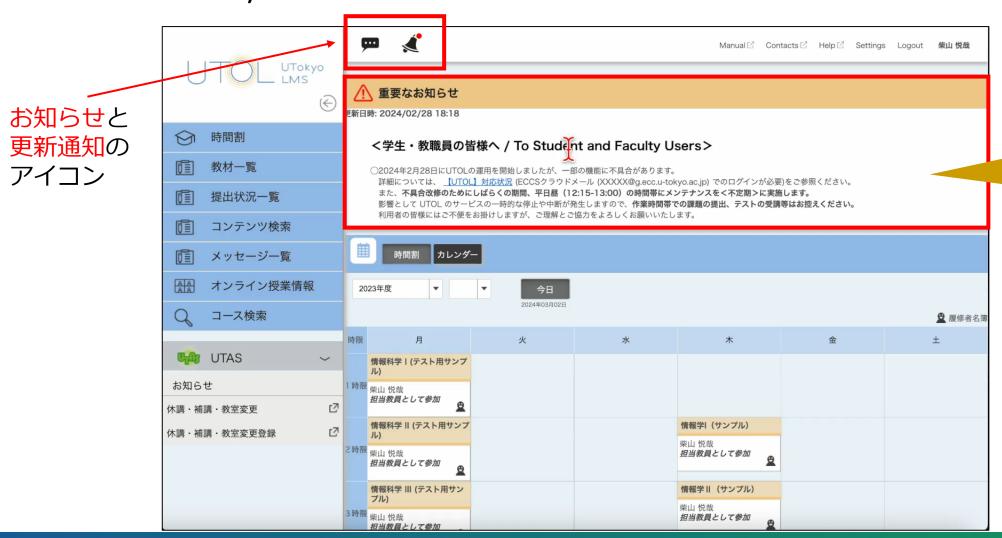




UTOL の基本



• 時間割から、科目(コース)を選びます

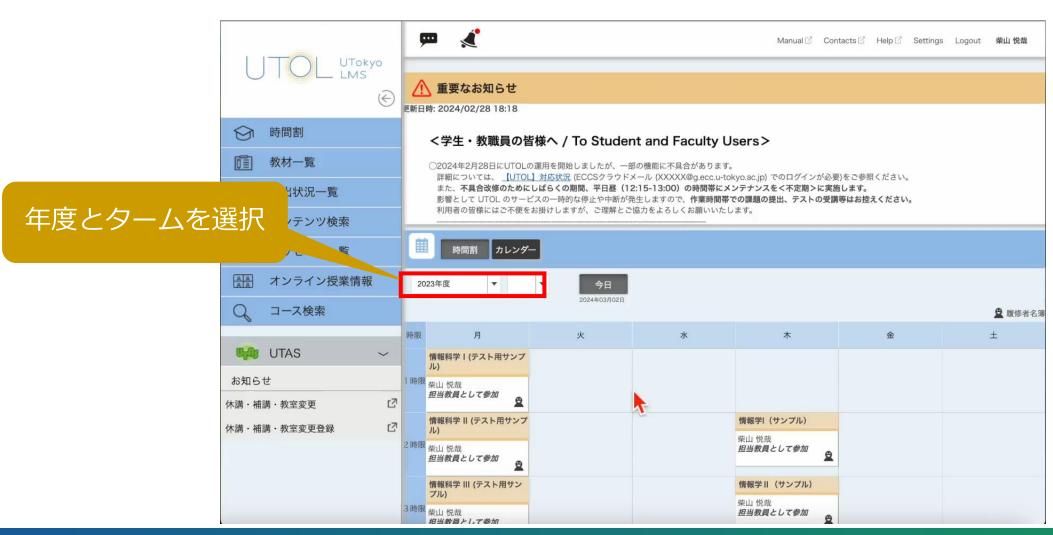


緊急の/重要なお知らせ

U

UTOL の基本







授業時間外の学生との連絡方法



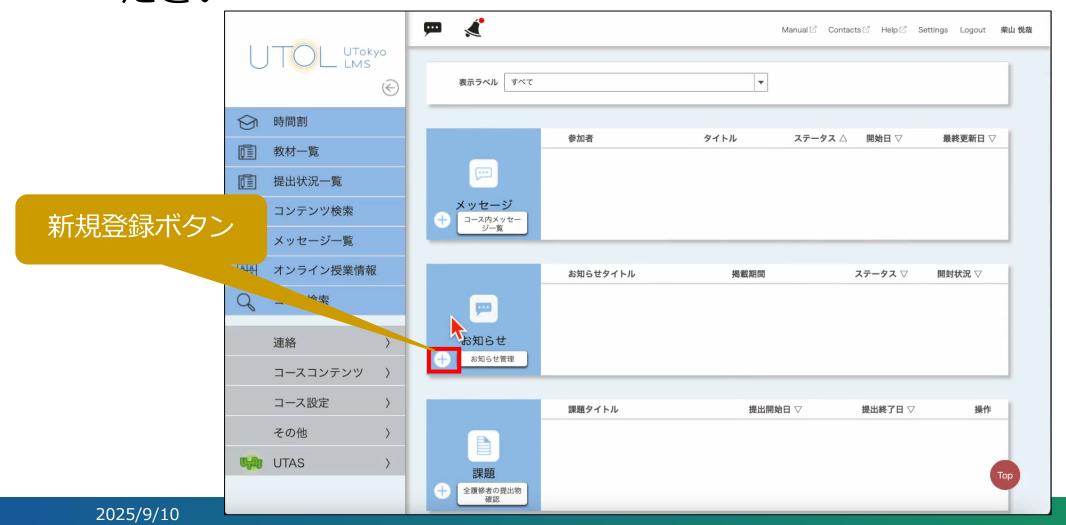
- 教員→学生
 - UTOL の「お知らせ」の利用を推奨します
 - 履修者全員に送ることも、一部の学生に送ることもできます
- 学生→教員
 - UTOL の「メッセージ」あるいはメールの利用を推奨します
 - 「メッセージ」を使うと、メールアドレスの交換が不要になります

- •UTOLを使うかどうに関わらず、標準的に利用する連絡方法を学生に伝えてください
 - なお,教員によって連絡方法が異なると,多くの授業をとっている学生 は混乱しやすいので,なるべく統一することが望まれます





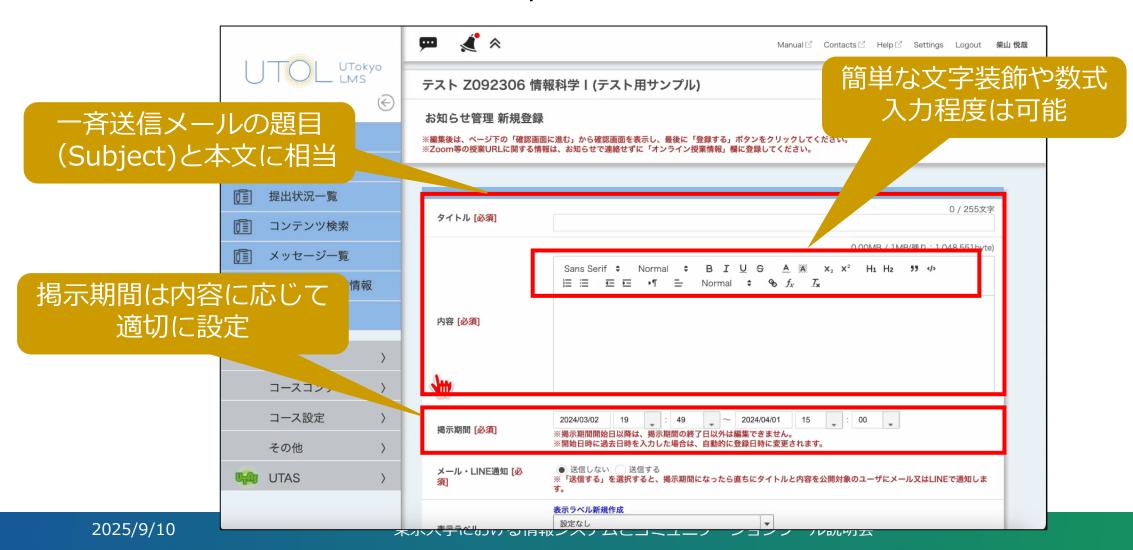
・学生への連絡には、コース内で「お知らせ」を新規登録してください







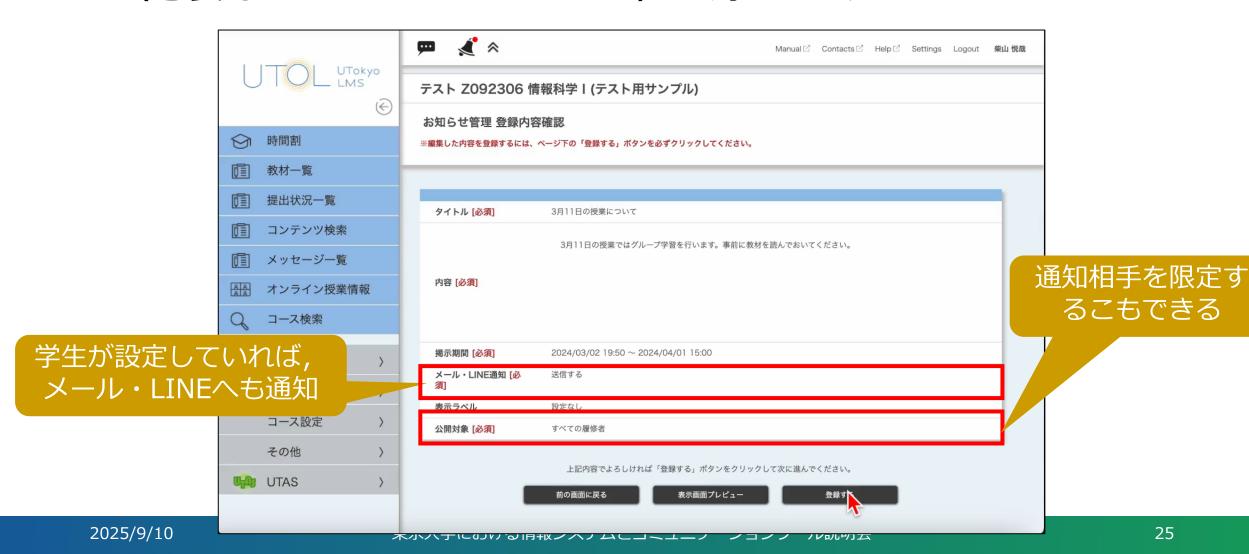
• 「お知らせ」のタイトル,内容等を入力してください







・(必要ならプレビューしてから)登録してください







- UTOL の「メッセージ」が学生から届くことがあります
 - ・担当教員のみかTAを含むかの2種類





UTOLで外部ツールとの連携機能

- UTOLで外部ツールとの連携機能を利用する https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/integrations/
- 利用したいコースごとに設定が必要です
- 事前に連携利用申請フォームから登録が必要

なツールもあります

- Zoom
- Slack
- LTI利用設定にチェック



UTokyo

時間割

教材一覧

コース設定

コースの概要説明

コース参加者登録

...

(



UTOLコースのUTokyo Slack連携



- UTOL上のコースの担当教員や履修者などメンバーとする専用の UTokyo Slackワークスペースを運用する機能
 - コースごとに申請が必要です
 - ・UTOLのコースに登録されたコース参加者(担当教員・TA・履修者)が,連携したワークスペースのメンバーとして自動的に登録されます
 - 履修者が多いコースでは管理の手間が省けます
 - ・コースの開講期間の30日後に、そのワークスペースは基本的に利用できなくなります
 - 同じワークスペースを他の授業(コース)で利用することはできません
 - 例:年度が異なる場合には新たなワークスペースを作成し直す必要があります



UTOLコースのUTokyo Slack連携



https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/students/integrations/slack/

必ずワークスペースの管理・運用に責任を持つ「代表責任者」と なる教職員が行ってください





オンライン授業情報の掲示



• Zoomの情報等は UTOL の「オンライン授業情報」欄に入力し

てください

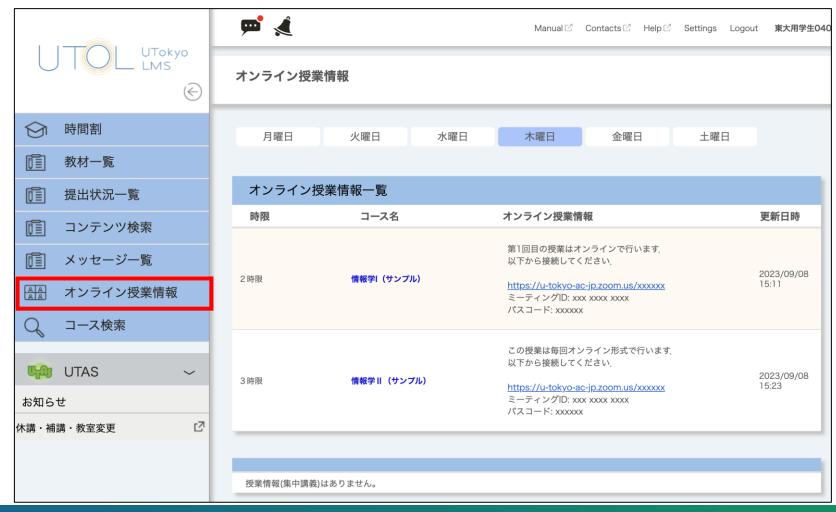




オンライン授業情報の掲示



• 学生は「オンライン授業情報」欄の内容を一覧できます





オンライン授業の掲示



- Zoom 会議室の情報は、URL だけでなく、ミーティングIDと パスコードも掲示するようにしてください
 - 参考: https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/faculty_members/url
- 「オンライン授業情報」欄には、授業期間中に変更しない(変更が少ない)情報を掲示するのが良いでしょう
 - 一つの授業では,同じ URL を授業期間中使い続ける方が間違いが少ないです

掲示の時期は、授業開始の直前ではなく、ゆとりを持たせるようにお願いします。



UTOLコースのZoom連携





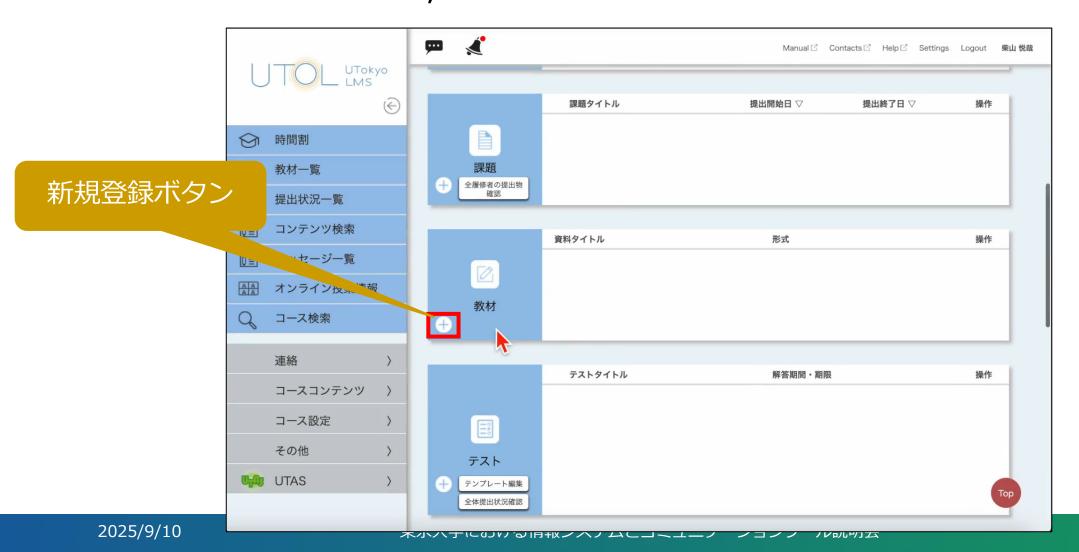
- UTOLからZoomの実行(開始・参加)
- ミーティングレポートやクラウドレコーディングの視聴(あれば)



教材の登録(配布)



• 教材配布のためには、コース内で「教材」を新規登録してください





教材の登録(配布)



• タイトルを入力し, 教材のファイルをドロップしてください

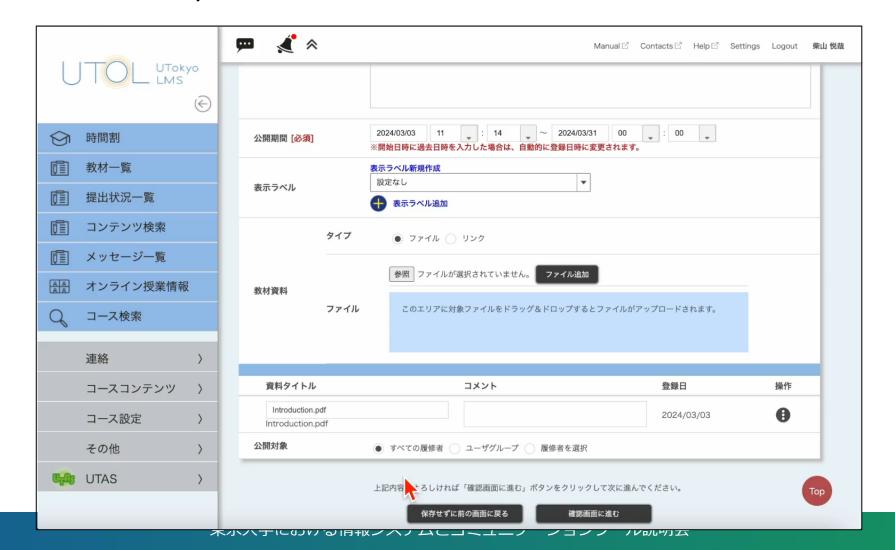




教材の登録(配布)



・確認画面に進み、登録を完了してください





教材の登録(配布)



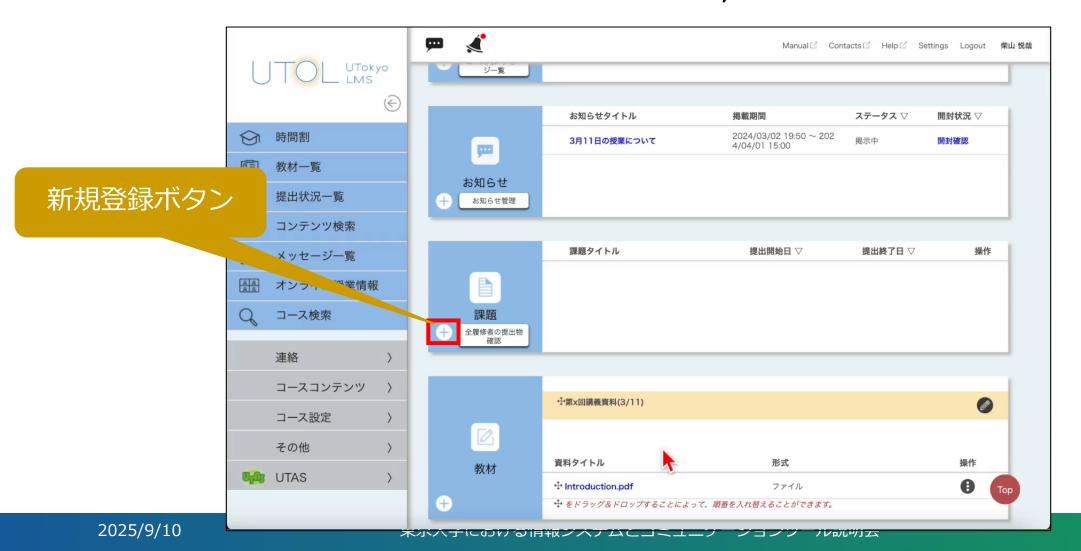
- 一つの「教材」には、複数のファイルを含めることができます
- 公開期間としては、期末試験が終わるまでが一つの目安です
- 学生は、メモ書きできる形式のファイルを好む傾向があります
 - e.g. ペン入力ができる学生には PDF 形式で配布すると,手書きのメモを取りやすい
 - e.g. キーボード入力が基本の学生は, PDF ではメモを取りにくい
- 教材を LMS で公開する際の著作権の考え方については,以下を参照して ください
 - https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/articles/copyright/
- 教材作成時の情報アクセシビリティの確保をお願いします
 - https://drive.google.com/file/d/1D0-8agRUaomJolAKYj3aSjtSG80ENDR4/view
 - バリアフリー推進オフィス・情報アクセシビリティ担当
 - 電子メール: spds-staff.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp



課題の登録(出題)



• (レポート) 課題の新規登録方法も, 教材とほぼ同様です





課題の登録 (出題)



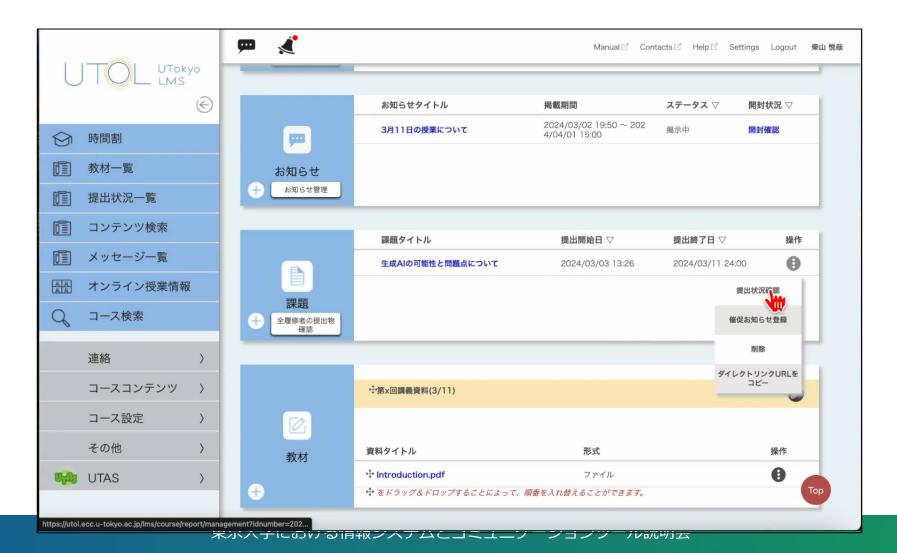
タイトル	生成AIの可能性と問題点について
内容	3月11日の授業の内容を参考にして,生成AIの可能性と問題点について調べ,レポートをまとめてください.
添付ファイル	
提出期間	2024/03/03 13:26 ~ 2024/03/11 24:00
提出方法	ファイルアップロード
期限後の提出	不可
評価の参照	可
提出物の相互参照	不可
表示ラベル	設定なし
公開対象	すべての履修者



提出物の回収



「!」メニューから「提出状況確認」を選んでください





提出物の回収



レポートを一括ダウンロードできます

	提出状况			
2. ここを押す	一括操作(選択項目)	一括ダウンロード 再	再提出設定	
	コメントと評価	参照 ファイルが選択されて フォーマットダウンロード	いません。	
	コメントと評価および フィードバックファイル (zipファイル)	参照 ファイルが選択されて zipフォーマットダウンロード		
	ファイル名指定オプシ ョン	ユーザID 氏名	学生証番号 [※] 一括ダウンロードには反映されません。	
	催促お知らせ	催促お知らせ登録		
1. ここをチェック				
				3件中1~3件を表示
	学生証番 号/(ユーザ 氏名 ID) ▽	成果物タイ トル 成果物	コメント 提出日時 最終変更 提出状況 再提出 (任意) ▽ 日 ▽ ▽ 限 ▽	期 評価 ▽ コメン… 編集
	92000001 東大 テス	\ 1		
	92000002 東大 テス	h2		
	UTokyoSt 東大用学生 040 040	妻いレポート 生成Alにつ いて.pdf	2024/03/03 2024/03/03 期限内提 13:43 13:47 出	
2025/9/10		v. c.pui	10.40 10.47 Щ	



提出物の回収



レポートを個別に見ることもできます

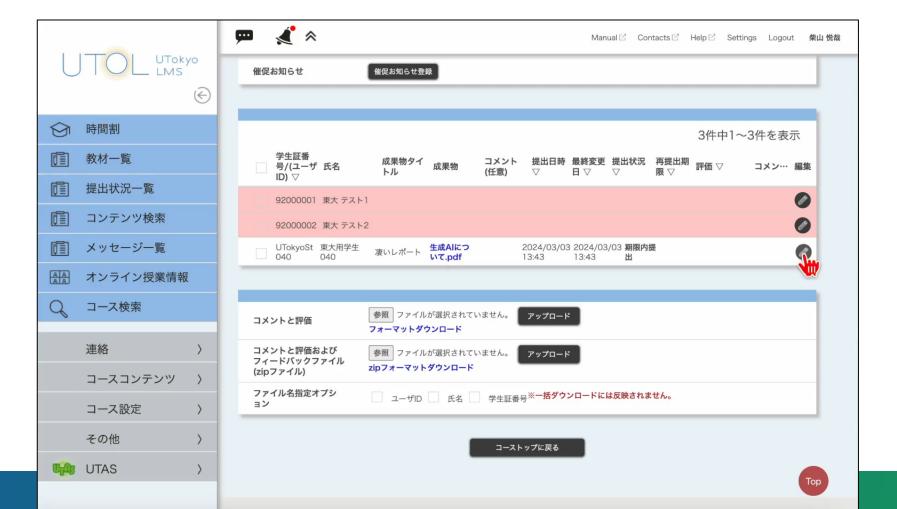
	提出状況			
	一括操作(選択項目)	一括ダウンロード 再扱	是出設定	
	コメントと評価	参照 ファイルが選択されてい フォーマットダウンロード	ヽません。 アップロード	
	コメントと評価および フィードバックファイル (zipファイル)	参照 ファイルが選択されてい zipフォーマットダウンロード	いません。 アップロード	
	ファイル名指定オプシ ョン	ユーザID 氏名	学生証番号 [※] 一括ダウンロードには反映されません。	
	催促お知らせ	催促お知らせ登録		
				3件中1~3件を表示
ここをクリック 	学生証番 号/(ユーザ 氏名 ID) ▽	成果物タイ トル	コメント 提出日時 最終変更 提出状況 再提出 (任意) ▽ 日 ▽ ▽ 限 ▽	期 評価 ▽ コメン… 編集
	92000001 東大 テスト	- 1		
	92000002 東入 /	2		
2025/9/10	UTokyoSt 東大用学生 040 040	要いレポート 生成Alにつ いて.pdf	2024/03/03 2024/03/03 期限内提 13:43 13:47 出	



提出物に対する評価等



・画面上で評価等を行うには「鉛筆」マークの編集ボタンを押してください

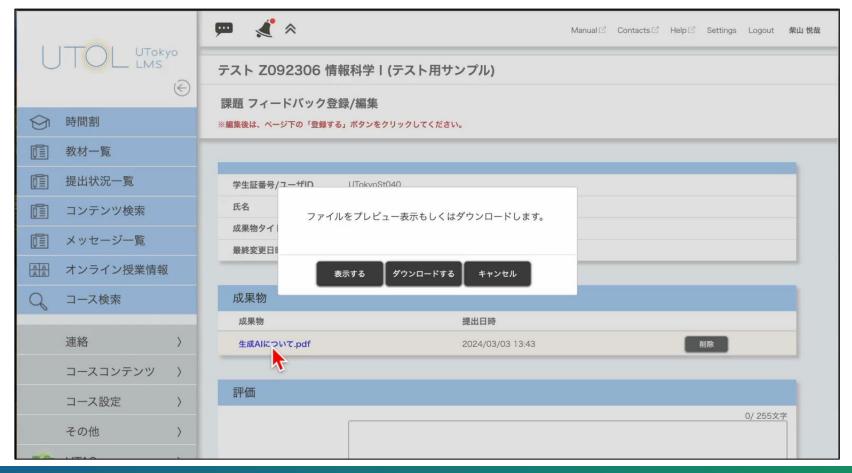




提出物に対する評価等



• 提出物を確認し、評価等を入力してください





提出物に対する評価等



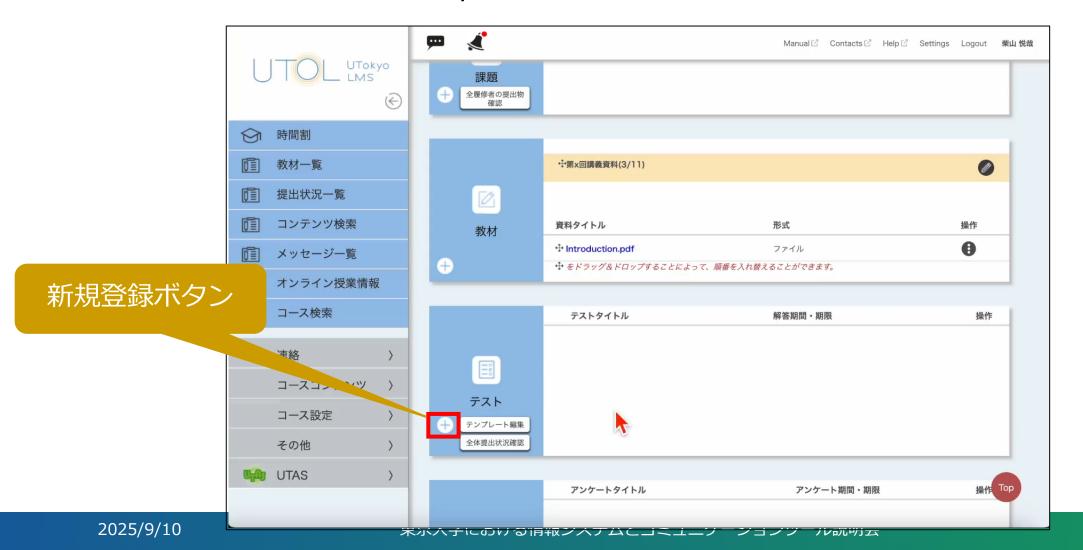
• 評価等を一括アップロードすることもできます

	提出状況	
2. Excel ファイル の中身を埋めて選払	-括操作(選択項目) ー括ダウンロード 再提出設定	3. アップロード
	コメントと評価および フィードバッグ・アップロード zipフォーマットダウンロード	
1. Excel ファイル をダウンロード	マイル名指定オプシ ユーザID 氏名 学生証番号※一括ダウンロードには反映 ョン	央されません。
	催促お知らせ	
		3件中1~3件を表示
	学生証番 号/(ユーザ 氏名 成果物タイ 成果物 (任意) ▽ 日 ▽ ▽	出状況 再提出期 評価 ▽ コメン… 編集 限 ▽
	92000001 東大 テスト1	
	92000002 東大 テスト2	
2025/9/10	UTokyoSt 東大用学生 タイプ サイン サイン サイン はて、	期限内提 A よく頑… 少





• テストの新規登録も、最初は教材や課題と同様です







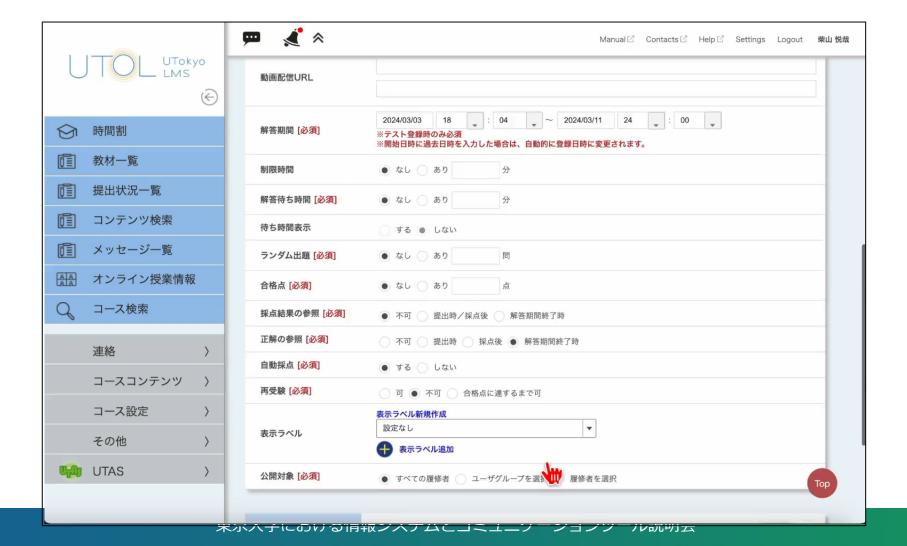
・設定項目は多いです

動画配信URL	
解答期間 [必須]	2024/03/03 18 : 05 2024/03/11 24 : 00 ※デスト登録時のみ必須 ※開始日時に過去日時を入力した場合は、自動的に登録日時に変更されます。
制限時間	● なし ○ あり 分
解答待ち時間 [必須]	● なし ○ あり 分
待ち時間表示	○ する ● しない
ランダム出題 [<u>必須]</u>	● なし あり 問
合格点 [必須]	● なし ○ あり 点
採点結果の参照 [必須]	● 不可
正解の参照 [必須]	不可 提出時 採点後 解答期間終了時
自動採点 [必須]	する しない
再受験 [必須]	可 ● 不可 合格点に達するまで可
表示ラベル	表示ラベル新規作成 設定なし ▼ 表示ラベル追加
公開対象 [必須]	● すべての履修者 ユーザグループを選択





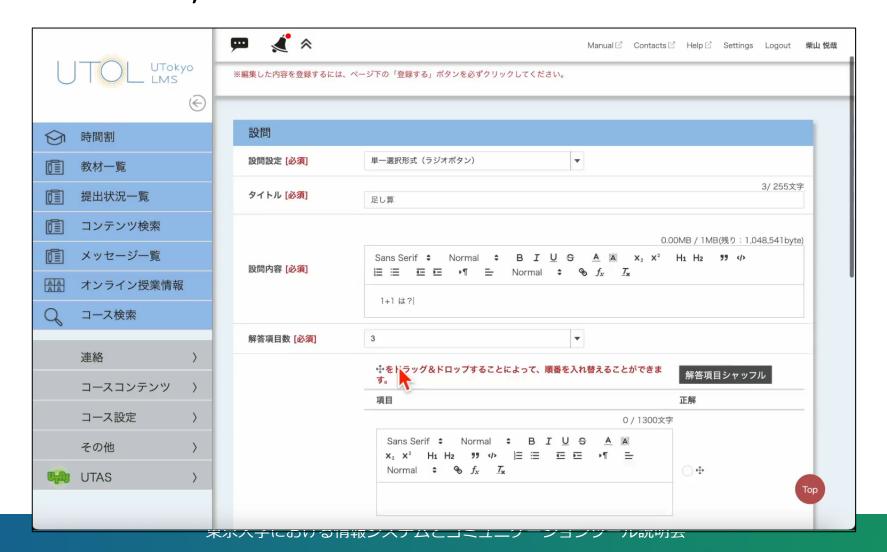
(一般には複数の)設問を設定してください







• 選択形式の場合, さらに選択肢と正解を設定してください

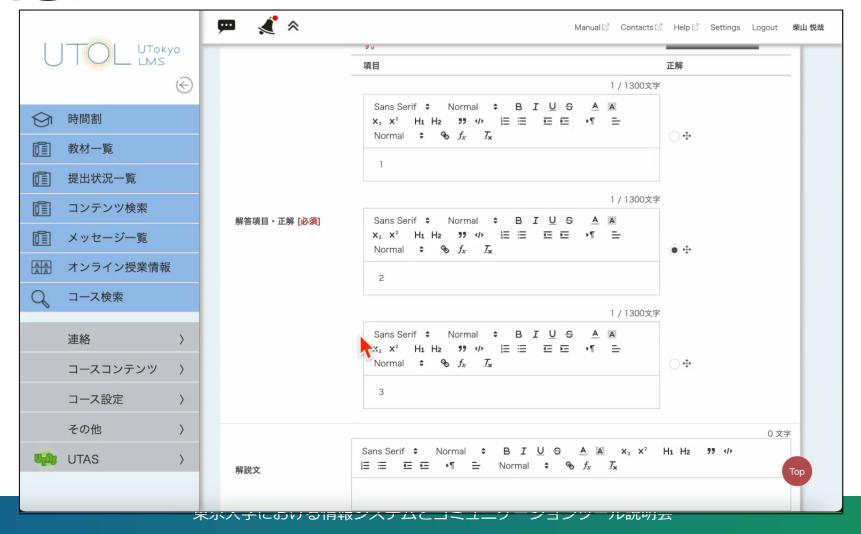




ラストの登録(出題)



• 配点を決め、設問を全部入力してから、確認画面に進み登録し てください



■ テストの採点



- 選択形式および穴埋め形式では,自動採点も可能です
 - ただし、穴埋め形式の自動採点は、正解の文字列との完全一致(前後 の空白は除く)で判定します
 - i.e. 全角の「1」と半角の「1」, 「1」と「1.0」などは不一致とみなされます
 - 自動採点機能の特徴を理解した上でご利用ください
- 解答状況の確認やコメントの返却は、「課題」とほぼ同様です





出欠の確認



- 授業中に簡単なテストを行い、出欠を確認する方法があります
- ・授業中にワンタイムパスワードを示し、それを学生に入力して もらう「出席管理」の機能もあります
 - どちらにしても、正確な判定を自動的に行うのは難しいです





休講・補講の登録と連絡



- 休講・補講を行う場合、まずは UTAS に登録してください
 - UTOLの「時間割」画面にも自動で表示されます(ただし即時表示ではない)



•履修者への連絡には UTOL の「お知らせ」を使うこともできます

U UTOL についてより詳しくは

utelecon の UTOL についての記事 (和英)

- 教員向け https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/
- 学生向け https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/students/

UTokyo Portal の UTOL についての記事 (日本語のみ)

• 職員向け https://univtokyo.sharepoint.com/sites/utokyoportal/wiki/d/UTOL.aspx

外部ツールとの連携(LTI, Matlab, Turnitin, Slackなど)

参考資料 (2024年3月実施の説明会資料およびその英語訳版)

しての他

- 学生からのページの見え方
 - 「閲覧ページ」を押下で確認できます
- ・他コースとの連携
 - コースのグルーピング (UTOL教職員向けマニュアル 15)
 - ・過去のコンテンツをインポート (UTOL教職員向けマニュアル 13.8)
 - https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utol/lecturers/settings/

